



# 輪

vol. 89

北九州市立医療センター  
広報誌「輪」

ご自由にお持ち  
ください

Kitakyushu Municipal Medical Center Communication Paper

## がん特集

# 消化管の早期がん

胃がん、大腸がん、食道がん、十二指腸がん

チーム紹介  
認知症ケアチーム

令和5年度  
新任医師の紹介



表紙写真：NGPRチーム

## 令和4年度退職医師一覧

血液内科	部長	上野 稔 幸	呼吸器外科	部長	山口 正 史
心療内科	部長	乙 成 淳	呼吸器外科	部長	小 齊 啓 祐
内分泌代謝・糖尿病内科	副部長	林 加 野	小児外科	レジデント	亀 井 一 輝
内分泌代謝・糖尿病内科	レジデント	井 形 公 一	皮膚科	副部長	仲 本 す み れ
呼吸器内科	部長	古 賀 祐 一 郎	皮膚科	副部長	本 間 葉 子
呼吸器内科	副部長	迫 田 宗 一 郎	泌尿器科	副部長	澄 川 涼 太
消化器内科	部長	國 木 康 久	泌尿器科	レジデント	持 田 学
消化器内科	レジデント	近 藤 悠 樹	産婦人科	副部長	遠 矢 雅 人
緩和ケア内科	部長	竹 谷 園 生	産婦人科	レジデント	田 中 桜 子
循環器内科	部長	有 村 貴 博	産婦人科	レジデント	中 野 幸 太
循環器内科	レジデント	内 海 杏 香	産婦人科	レジデント	村 田 結 実 子
小児科	主任部長	小 窪 啓 之	眼 科	部長	古 賀 聖 子
小児科	部長	黒 木 理 恵	耳鼻咽喉科	部長	西 山 和 郎
小児科	レジデント	木 村 翔	耳鼻咽喉科	副部長	斉 藤 あ ゆ み
外科	部長	堀 岡 宏 平	放射線科	副部長	小 倉 琢 嗣
外科	部長	松 田 諒 太	放射線科	副部長	今 福 輝
外科	クリニカルフェロー	田 原 有 希	放射線科	レジデント	佐 野 淳 僊
外科	レジデント	今 村 証 紀	放射線科	レジデント	山 崎 修 司
外科	レジデント	葛 山 堅 斗	病理診断科	レジデント	柿 木 園 歩 美
整形外科	副部長	中 川 航	内 科	研修医	有 吉 雅 史
整形外科	レジデント	安 達 淳 貴	内 科	研修医	堀 川 悠 奈
			内 科	研修医	眞 鍋 泰 奈

※令和5年3月31日付で退職となりました。大変お世話になりました。

## 標榜診療科一覧

内 科	精 神 科	内分泌・糖尿病内科	乳 腺 外 科	胆のう外科	リハビリテーション科	皮 膚 科	放 射 線 科
肝 臓 内 科	呼吸器内科	緩和ケア内科	内 分 泌 外 科	膵 臓 外 科	脳神経外科	泌 尿 器 科	病 理 診 断 科
血 液 内 科	消化器内科	小 児 科	大 腸 外 科	食 道 外 科	呼吸器外科	産 婦 人 科	救 急 科
感 染 症 内 科	循環器内科	外 科	肛 門 外 科	胃 腸 外 科	心臓血管外科	眼 科	麻 酔 科
心 療 内 科	腫 瘍 内 科	消化器外科	肝 臓 外 科	整 形 外 科	小 児 外 科	耳 鼻 咽 喉 科	歯 科

### 基本理念

わたしたちは公共的使命を自覚し心のこもった最高最良の医療を提供します

### 基本方針

1. 患者さんの権利 個人情報保護し 患者さんの立場に立った医療を行います
2. 十分な説明と同意による信頼関係のもとに 患者さんが満足できる医療を行います
3. 安心かつ安らぎが得られる質の高い医療をめざし 安全管理を徹底します
4. 常に研鑽して最高水準の医療知識・技術を習得し あわせて温かい心を持つ医療人をめざします
5. 地域における役割を自覚し 地域の医療機関とともにその責務を果たします
6. 合理的かつ効率的な病院経営に努めます

### 編集後記

広報誌「輪」編集長 高島 健

当院の開設時の時代背景を調べてみました。明治4年の廃藩置県によって、医学教育や医療を担ってきた藩立の医学校や医療所は財政基盤を失うことになり、その多くが廃止されました。明治6年頃から公立医学校の設立が少しずつ始まり、明治10年代になって急増したようです。当院は明治6年開設ですので、非常に早い時期であったことがわかります。多くの公立病院は県立でしたが、当院は郡立ですので小倉県企救郡の役人の心意気を感じてしまいます。



発行日：2023年5月1日



地方独立行政法人 北九州市立病院機構  
北九州市立医療センター

〒802-8561 北九州市小倉北区馬借二丁目1番1号  
TEL.093-541-1831(代表) FAX.093-533-8693  
外来予約センター 093-533-8660  
[月～金 9:00～16:30]紹介状または二次検診初診受付  
ホームページ <https://www.kitakyu-cho.jp/center/>



ホームページは  
こちらから



フェイスブックは  
こちらから



インスタグラムは  
こちらから



ツイッターは  
こちらから

※本紙では撮影用にマスクを外しています。

# 消化管の早期がん

## 胃がん、大腸がん、食道がん、十二指腸がん

### 消化管がんについて

わが国の悪性腫瘍の患者数や死亡数の中で、消化管（食道、胃、大腸）の割合は多くを占め、たくさんの患者さんが消化管がんのために毎年、お亡くなりになっています。

しかしながら、近年、内視鏡の機器の発展と診断技術の向上が進み、早期胃がんを代表とするような消化管の早期悪性腫瘍がたくさん発見されるようになりました。現在では、早期胃がんの治療法であるESDと呼ばれる内視鏡治療（粘膜下層剥離術）は開腹手術の実数を上回っています。このように早期がんの段階で見えるために、上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）や下部消化管内視鏡検査（大腸ファイ

が、早期がんであれば、横の広がりには制限なく広く切り取ることが可能となります。手術後、1週間で退院可能であることも大きなメリットとなっています。ESDで切除する消化管の範囲は上皮の表面にのみ限定されるために、他の治療に比べて回復までに要する時間は非常に短いです。例えば、胃がんや食道がんのESD後、退院までは1週間、通常の仕事には2週で戻ることが可能です（個人差があります）。

当科では内視鏡手術の黎明期より、九州でいち早く、内視鏡治療を開始しました。十数年に渡り、九州でトップクラスの治療数を誇り、難易度の高い治療にも対応可能となっています。また、2021年からもしっかりと難易度が高い十二指腸ESDも行っています。十二指腸は壁が薄く、消化液（胆汁+膵液）による筋層の損傷、穿孔が起きやすく、国内でも対応できる施設が少ないとされていますが、積極的に福岡県内外より患者さんを受け入れています。

バー検査）を行うことが重要であるにも関わらず、受診率は十分とはいえません。消化管は容易に組織の採取が可能であり診断もすぐに可能なため検査さえ受診すれば、さらに多くの患者さんを救命できる分野です。しかしながら、きつい、苦しい、恥ずかしいという昔からの内視鏡のイメージが先行して、内視鏡検査普及の壁となっています。

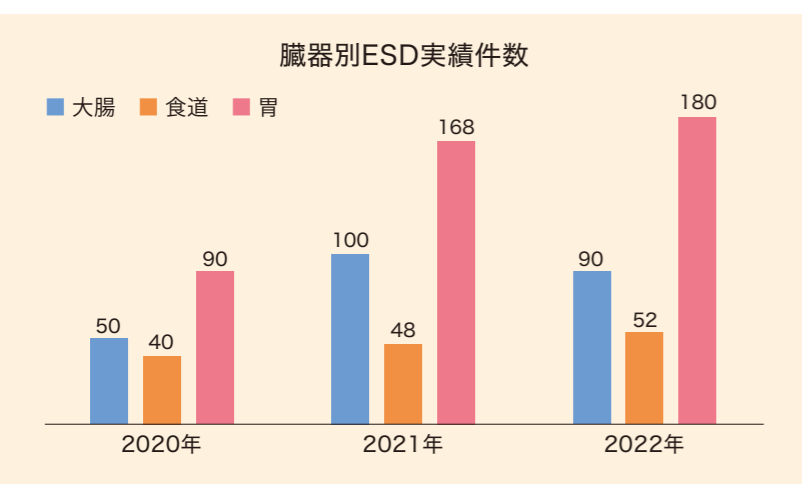
北九州地区は多くの胃腸科専門クリニックがあり、内視鏡診療に恵まれた医療圏です。検査を受けることに制約はない状況ですが、検査を受けたことがない方がたくさんいらっしゃいます。胃がん個別検診や大腸がん検診などの受診率が上がるように、わたしたちも啓発活動を続けていく必要があると考えています。

### まとめ

日本国内の死亡数の多いがん（胃がん、大腸がん、食道がん）のほとんどが内視鏡で早期診断が可能です。

内視鏡検査は、以前より楽に受けることができます。

早期がんは内視鏡手術で根治治療が期待出来ます。



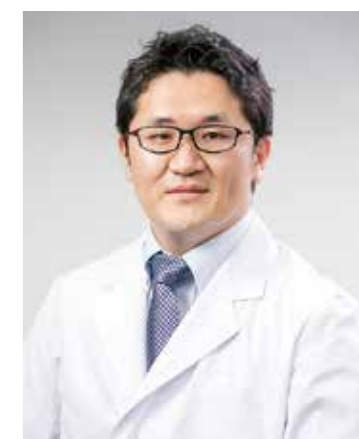
### 消化管がんの治療について

また、当科では多くの開業医や病院の先生方よりご紹介を頂き、胃がん、大腸がん、食道がんを中心に毎日、内視鏡手術を行っています。実は、咽頭から食道・胃・十二指腸・大腸・肛門管まで治療できる部位は拡大されており、当院でもすべての領域に対応しております。ほとんどの早期がんは無症状で内視鏡的に発見されます。早い段階で生じたがんは、消化管壁の浅い粘膜に留まっており、内視鏡を通して電気メスを用いて、がんを直接、切除することが出来ます。しかしながら消化管がんは症状が出てからでは内視鏡治療は困難であり、広範囲を切除可能な外科的治療が行われます

### 最後に

どんなに消化管内視鏡の性能が進化しても、検査を受けなければ何も変わりません。

みなさまに、安心して、楽に検査を受けやすい環境づくりに日々取り組んでおります。内視鏡を受けたことがない方は、積極的に検査を受けられるようお願いいたします。



北九州市立医療センター  
消化器内科 主任部長  
すみだ よりのぶ  
隅田 頼信

### PROFILE

#### 隅田 頼信

2021年に主任部長として着任いたしました。当科は胃がんに対して初めて内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)が始まった黎明期より内視鏡治療に実績があり、諸先輩方の積み重ねられた業績を引き継ぎ、さらに発展させることで、地域の皆さまに貢献できればと思います。内視鏡治療をはじめ、様々な消化器疾患の質の高い治療を目指してスタッフ一同頑張っております。

- 専門医等  
・日本内科学会総合内科専門医  
・日本消化器病学会専門医・指導医  
・日本消化器内視鏡学会専門医・指導医  
・日本消化管学会胃腸科専門医・代議員 など

- 学会関係  
・日本内科学会  
・日本消化器内視鏡学会  
・日本消化器病学会  
・日本消化管学会 など

# 新生児蘇生法(NCPR) 病院前コースを開催しました

当院は総合周産期母子医療センターとして、施設外分娩など予期せぬ出産にも対応し、救急搬送を24時間受けています。そのため、救急隊との連携が不可欠であり、命のバトンを安全に、そして生まれてきた新生児が後遺症なく救命することを目指しています。また、病院前コースは2020年

2023年3月4日に救急救命士・救急隊員を対象とした、新生児蘇生法病院前コースの講習会を開催しました。  
新生児蘇生法は、日本周産期・新生児医学会による、新生児の予後改善を目的とした普及事業です。NICU(新生児集中治療室)スタッフは、新生児蘇生法専門コース(高度な蘇生手技を含む)の資格を全員が取得しており、そのうち7名がインストラクターとして院内外で活動を行っています。



看護部  
新生児蘇生法専門コースインストラクター  
JCS-ITC BLSインストラクター  
矢野 由美



NCPRチーム

に開始された新しいプログラムで、全国で開催している施設が少なく、福岡県では初開催となりました。  
新生児は、呼吸が最も大切といわれています。設備の整った分娩施設とは違い、自宅や車中では、保温も大切となります。地域のプロトコルに沿って、新生児に一番有効な蘇生法の習得を目指し、基礎的な講義・基本的な技術取得・実際の場面を想定したシナリオ実習を行いました。また、お互いの立場で意見交換を行うことで、今後、病院と救急隊との更なる連携した処置対応が期待できます。  
病院前コースの活動は始まったばかりですが、小さな命を守るため、そしてお母さんと赤ちゃんの笑顔のために、今後も講習会を開催していきたいと思えます。



## チーム紹介

# 認知症 ケアチーム

よしだ ゆうじ  
精神科 部長 吉田 侑司



認知症ケア委員会

当院では、2020年5月より医師、看護師、社会福祉士、薬剤師、管理栄養士、作業療法士など多職種から構成された「認知症ケアチーム」を結成し、各病棟の看護師と連携を図り、認知症高齢患者さんとそのご家族の支援を行っています。  
当院では、手術や抗がん剤など身体侵襲の影響が大きい患者さんが多く、身体症状に伴う苦痛などは、せん妄の発症や認知症の行動・心理症状の悪化を招きやすくなります。チームでは患者さんの訴えや行動を予測し、個別



カンファレンス

性に合わせた対応をするために、身体症状の緩和、環境や薬剤調整、コミュニケーションの工夫や身体抑制の必要性など協議しながら多角的なサポートを行います。また定期的に病院全体で研修会を実施し、認知症に関する理解とアセスメント力を高め知識・技術の定着を行っています。  
例えば、疼痛コントロールが不足し混乱している患者さんの除痛を積極的に行い、夜間の睡眠を確保することで混乱を軽減し、リハビリへの参加を促すことでADLの低下を予防します。



病棟ラウンド

せん妄や認知症の行動・心理を持たず身体抑制にできるだけ頼らず、患者さんが安心して過ごすことができる認知症ケアの実現を目指します。  
認知症ケアチームは認知症高齢患者さんが慣れない環境の中でも安心して身体疾患の治療を円滑に受け、その人らしく療養生活を送ることができ、住み慣れた地域に戻ることを目指し、スタッフ一丸となって頑張っていきますので、よろしく願っています。

令和5年度 **新任医師の紹介**

今年度より着任しました。よろしくお祈いします。



呼吸器外科  
はろ あきら  
波呂 祥



整形外科  
とくなが しんいち  
徳永 真一



整形外科  
みやふさ れいな  
宮房 玲奈



外科  
よしだ たいき  
吉田 泰樹



心療内科  
たいら かなこ  
平 加奈子



血液内科  
いりふね ひでとし  
入船 秀俊



小児科 主任部長  
さけみ よしひろ  
酒見 好弘



腫瘍内科 主任部長  
ありやま ひろし  
有山 寛



産婦人科  
なかしま なつみ  
中島 奈津実



泌尿器科  
しげやす てつし  
重安 哲志



泌尿器科  
こうら みきふみ  
児浦 未季史



小児外科  
やまぐち よしき  
山口 修輝



消化器内科  
いなだ たいすけ  
稲田 泰亮



呼吸器内科  
なかしま かずき  
中島 和輝



呼吸器内科  
たむら けんたろう  
田村 健太郎



内分泌代謝・糖尿病内科  
あかまつ しほ  
赤松 志保



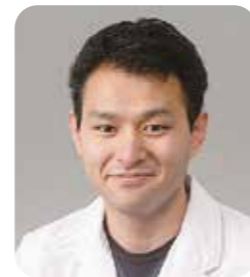
耳鼻咽喉科  
すずき ともはる  
鈴木 智陽



産婦人科  
いのうえ ひかる  
井上 瑛



産婦人科  
もとむら まゆこ  
本村 真由子



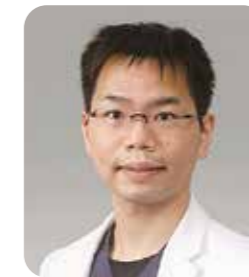
産婦人科  
あんどう れお  
安藤 伶旺



小児科  
おの ひろあき  
小野 宏彰



循環器内科  
ながとも たかひろ  
長友 隆寛



循環器内科  
ながた たくや  
永田 拓也

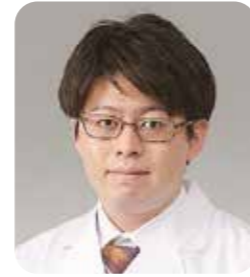


消化器内科  
ほんま ひとし  
本間 仁

内分泌代謝・糖尿病内科	二見 貴人	ふたみ たかと
外科	松岡 俊	まつおか まさる
皮膚科	黒木 千晶	くろき ちあき
眼科	木下 博之	きのした ひろゆき
耳鼻咽喉科	浦辺 大志	うらべ まさし
耳鼻咽喉科	岩本 あさの	いわもと あさの
放射線科	黒木 翔太	くろぎ しょうた
麻酔科	中野 涼子	なかの りょうこ



放射線科  
なかむら りょう  
中村 瞭



放射線科  
よしみつ りんご  
吉満 凜吾



外科  
はたい さんしろう  
畑井 三四郎



外科  
ながお しんじろう  
長尾 晋次郎



外科  
おおやま やすひろ  
大山 康博



小児科  
たけもり わたる  
武森 渉

知って得する

# 病院の「か」か「り」方

## 総合案内(コンシェルジュ)について

総合案内(コンシェルジュ)は、患者さんがスムーズに診療を受けられるようにサポートを行う部門です。きめ細かい患者サービスを目指して、2023年1月4日より始動しました。現在、コンシェルジュ2名を配置しており、総合案内、初診・再来患者さんの対応、院内各施設の案内など様々な役割を担っています。

どこに  
相談したら  
いいの…

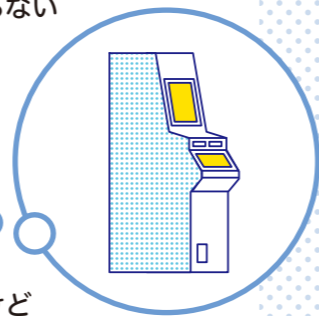


コンシェルジュの片山です。  
患者さんに貢献できるよう  
努力してまいります。  
何かありましたら  
総合案内にいますので、  
お声かけください。



### 例えば…

- 初めて来たから、受付の仕方がわからない
- 車イスを借りたい
- 受付をしたいけど、  
何科にかかれればいいかわからない
- 自動精算機の使用方法がわからない
- 診断書を申し込みたいけど、  
どこで申込をしていいかわからない
- 聞きたいこと、頼みたいことがあるけど  
誰に聞けばいいかわからない… など



コンシェルジュの松永です。  
患者さんの支えとなるよう、  
努力してまいります。  
お困りの際はお声かけください。



当院へご来院の際、ご不明な点などございましたら、  
青色のスカーフをつけている「コンシェルジュ」まで  
お気軽にお声かけください。

総合案内(コンシェルジュ)

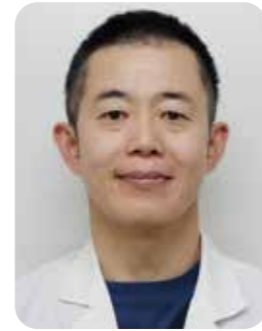
配置時間：平日(月~金)08時30分~14時30分

配置場所：本館1階待合フロア(1番初診受付横)



Doctor Question  
ドクター

# 変形性股・膝関節症



関節外科部門  
主任部長

じょうのおさむ  
城野 修

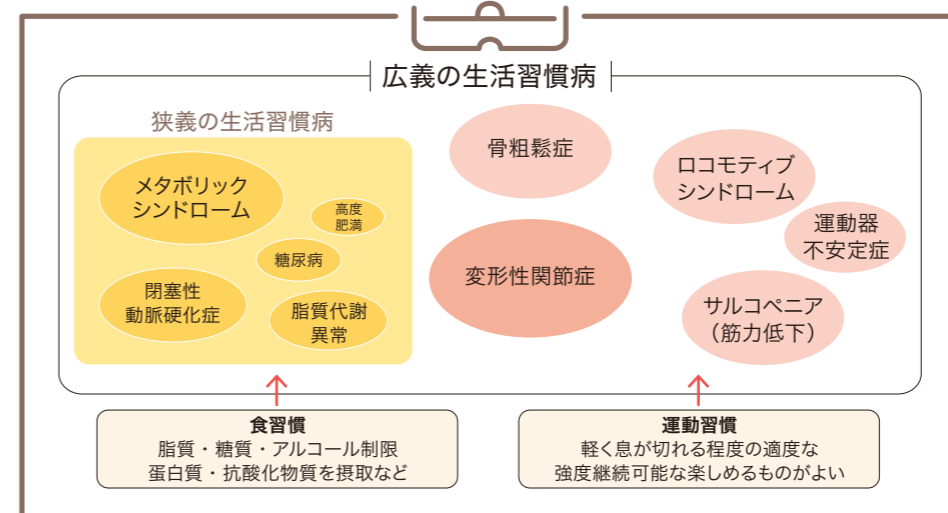
「軟骨が擦り減るのを防ぐためにはあまり運動しない方がいいですか?」と、時々尋ねられます。変形性関節症では確かに軟骨が傷んでいますが、ただ単に使い過ぎで軟骨が擦り減るわけではありません。もし使い過ぎが原因ならば、運動習慣のない中高年者よりも、マラソン選手の方が軟骨は早期に擦り減るはずですよ。

変形性関節症の発症には、半月板変性断裂や骨粗鬆症が関与する例が多いことが近年明らかとなっております。膝半月板は関節安定化や荷重分散の機能を担いますが、この半月板が断裂すると、関節の安定性は損なわれ、荷重も狭い範囲に集中し、軟骨やその下の骨が損傷しやすくなります。半月板変性断裂や骨粗鬆症・劣化を防ぐ必要がある、そのため

には適切な生活習慣(特に運動習慣、食習慣)が重要となります。つまり広義での生活習慣病であり、メタボリック症候群や糖尿病などの狭義の生活習慣病や運動器不安定症、骨粗鬆症などと相互に関連しています。

冒頭の質問に対しては、「激しい運動は軟骨を傷めるかもしれないが、痛みが出ない範囲での適度な運動は全身の健康のためにも行った方がいいです」とお答えしています。

具体的には、バイク(室内自転車)こぎや、水中歩行および水泳など膝への荷重負荷が小さいものが推奨されますが、難しいようであれば毎日5千歩歩く、職場でエレベーターは使用しない、就寝前にスクワット運動をする、などといった継続可能な習慣を身につけると良いでしょう。





## 社会医療法人 陽明会 小波瀬病院



院長  
たか はし はる き  
高橋 治城 先生

京都府刈田町大字新津1598番地  
TEL.0930-24-5211  
FAX.0930-22-4416

### ●診療時間

診療時間は診療科によって異なります。  
※詳しくは小波瀬病院ホームページまたはお電話にてお問い合わせください。

### ●診療科目

内科・循環器内科・呼吸器内科・外科・消化器内科・整形外科・脳神経外科・眼科・泌尿器科・神経内科・心療内科・婦人科・リハビリテーション科・耳鼻咽喉科・救急科・リウマチ科・小児科・形成外科・消化器外科・乳腺外科・膠原病内科

**地域の方、患者さんへメッセージ**  
京築地方の基幹病院を目指し、救急医療を含めた急性期医療のさらなる充実、高齢化社会に対応した慢性期医療の整備、地域住民の健康を守る健康管理センターの充実など、「医療を通じて地域住民の健康と福祉への貢献」を理念とし、これからも地域の皆様の声を聞きながら、安心してご利用いただける病院作りを職員一同目指してまいります。

**当院について**  
小波瀬西工大前駅から徒歩5分のところにあります「社会医療法人陽明会小波瀬病院」です。当院は266床を有するケアミックス病院です。京築地方の医療の充実をという願いのもと1982（昭和57）年に設立され、地域の救急医療と健康管理に力を尽くしています。

# 登録医のご紹介



医療法人 天祐会

## かたえ整形外科・リウマチ科

北九州市小倉北区真鶴2丁目10-5  
TEL.093-616-0559

### 診療科目

整形外科、リウマチ科、  
リハビリテーション科

### 診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	●	●	●	●	●	●	-
14:30~18:00	●	●	●	-	●	-	-



かた え ゆず じ  
院長 片江 祐二 先生

### 当院について

九州歯科大学の横（小倉北区真鶴）に2019年11月に開院しました。整形外科、リウマチ科の診療を行っています。痛みや機能障害の原因を見つけるよう診察と検査を行い、ブロック注射やリハビリに力を入れています。

### 地域の方へ、患者さんへのメッセージ

医療センターは、当院から手術を依頼することが多く、重要な連携病院です。これからも連携を図りつつ、地域のホームドクターとして、気軽に立ち寄り、悩みを話して頂き、笑顔で日常生活を送ってもらえるようなクリニックを目指してまいります。

## 患者支援センター だより

当院では、初診の患者さん個人からの予約受付を**外来予約センター**にておこなっております。

### 対象者

- 紹介状をお持ちの方
- 2次検診の必要があると判断された方



詳しくは  
こちらから

## 外来予約センター

☎ 093-533-8640

受付時間：平日9時～16時 祝日・年末年始除く



## 北九州市立医療センターは 開設150周年を迎えました



北九州市立医療センターは1873（明治6）年に企救郡立小倉医学校兼病院として開設され、2023年4月に150周年を迎えました。

当院は、第二種感染症指定医療機関、総合周産期母子医療センター、地域がん連携拠点病院として高度ながん医療

と生活習慣病の診療を中心に、北九州地区の医療を担ってきました。150年にわたり、地域医療を提供できたことは、連携医療機関をはじめ地域の皆さまのご支援、ご協力のおかげです。

これからも地域の皆さまからご信頼いただける、安全で質の高い医療を提供できるよう目指してまいります。



明治時代の小倉病院本館（明治33年）



市立病院となった当時の小倉病院正門（明治33年4月）